

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 5 (2023) 年 11 月号

編 集 武田 隆久
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
一般社団法人 日本病院会 事業部教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <https://jha-e.jp/>
受付時間 10:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月 1 日

全国の診療情報管理士のみなさん、来年 8 月は博多に来んしゃい!

吉住 秀之

独立行政法人国立病院機構都城医療センター 院長
診療情報管理士教育委員会 委員
基礎課程小委員会 委員長

第 49 回日本診療情報管理学会学術大会は 9 月に十和田市で、「地域の医療介護情報を活用する」というテーマで行われたばかりですが、来年の学会の紹介をさせていただきます。第 50 回の学術大会は、福岡市において「医療ビッグデータ時代における適応と進化」というテーマで行います。

医療機関で扱う情報の範囲は多岐にわたり、一個人の疾病情報の膨大な集合体が国の疾病対策はもとより社会保障政策を左右することを診療現場の皆さんは肌で感じていることと思います。平行してその情報の処理速度、記憶容量は加速度的に増加することから、今後人工知能等を使いこなしながら業務を行うという風景が日常化することでしょう。診療情報管理士を取り巻く環境が激変時代を迎えている今日、当学会でもしっかりとした展望を持ち、適切な診療情報管理の道筋を示していく責務があります。

この変化に乗り遅れたり敢えて無視したりして適応しそびれる医療機関は恐らく淘汰され、うまく適応する医療機関はさらに進化して情報処理・分析能力を高めていくことでしょう。集団内で智恵を出し合い協力しあうことで、人類が生存競争に勝ち抜き現在があるように、多くの診療情報管理士を含む医療職がさまざまなアイデアを議論しあうことで必ず将来の展望が拓けるとと思います。相談する相手や機会がなかなかないという方こそ、是非学会員となり、学術集会の現場に足を運んで聴講して、議論に参加して下さい。そして横のつながりをひろげて下さい。パソコンの画面を通してから得られる以上のものを必ず手にすることができるはずですよ。

「進化」という概念は、もともと生物学から由来するものですが、人工的なものであっても多数のシステムがある目的の下で競合すると、経時的に変化し、より効率的で生産的なシステムと変化していきます。多くの意見やアイデアを出し合えば出し合うほど、診療情報管理の進化は加速します。ここで急いで強調しておきたいことは、「ビッグデータ」において本質的に重要なのはその「量」ではなく「質」であるということです。質が不揃いなデータは、いくら集積してもよいものを得ることは期待できません。医療ビッグデータの処理を行う前に、質的監査を行う診療情報管理の技がこれからますます求められて行くことは確実です。

現在来年の学会に向けて実行委員の面々と鋭意準備中ですので、是非奮って演題を申し込んでください。今年は COVID-19 も 5 類となりましたので、一定の感染予防策の元で皆さんと face to face の議論を博多でできることを楽しみにしています。